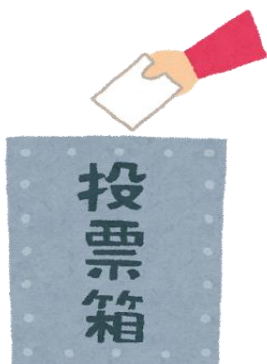


せんきょを学ぶ会

終了しました

～障がいのある人も選挙に参加できます～



11月29日(日)北区民センターにおいて、せんきょを学ぶ会を行いました。札幌市選挙管理委員会の全面協力、札幌市手をつなぐ育成会との共催です。参加者は50名でした。

3階ホールの後ろ半分に投票所が出現！知らずに覗いた人は「今日は投票日だった？」と錯覚しそのうなほど、すべて本物がずらり。20人近くの選管職員さんが受付から立ち合い人まで席についてくださり本番さながらの雰囲気でした。STV どさんこワイドの取材も入ったので放映をご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

(ちなみに我が家はせっかく映ったのに見忘れました(≥▽≤))

【参加された方のコメント】

当日は重度知的障害のある20才の娘と出席しました。

どんなふうに立候補者を選ばせるのだろうか？立候補者の演説内容が娘に判りやすい為の、どんな工夫がされているのだろうかと期待しながら参加しました。残念ながら期待はすっかりハズして、すでに投票する候補者を選んでから投票所に来たという設定の模擬選挙投票ということでした。(よく考えれば当たり前ですが…(^_^))

投票所に来てから知事、市長の二つの投票をして帰るという設定で図解入の資料やスクリーンを見ながらの解説はとても良かったと思います。

事前にもらった候補者の資料のなかから本人が選んだ候補者名を書いた紙を持たせ入り口で「代理投票をお願いします」と選管の方に付き添いをお願いして投票をしました。

記載所では持たせた紙に書かれた候補者の名前を選管の方が代筆してくれて書いたものを娘に見せて「これで良いですか」と確認してから投票用紙を渡され投票箱に「自分で入れる」体験をしました。娘が選挙を理解したかは謎ですが…(^_^)、無事に1票を投じる事は出来ました。

せっかく「知的障害者が選挙に参加する」という社会通念が出来始めたのですから候補者にも「どんな人にも判りやすい演説内容のアピール」を工夫してほしいと思いました。

そうでなければ娘は他の誰かが選んだ候補者に1票を入れる事になりかねませんから…。

来年には早速、選挙があるようなので親子でゆっくり投票出来る「事前投票」に行き権利を行使して来たいと思います。

